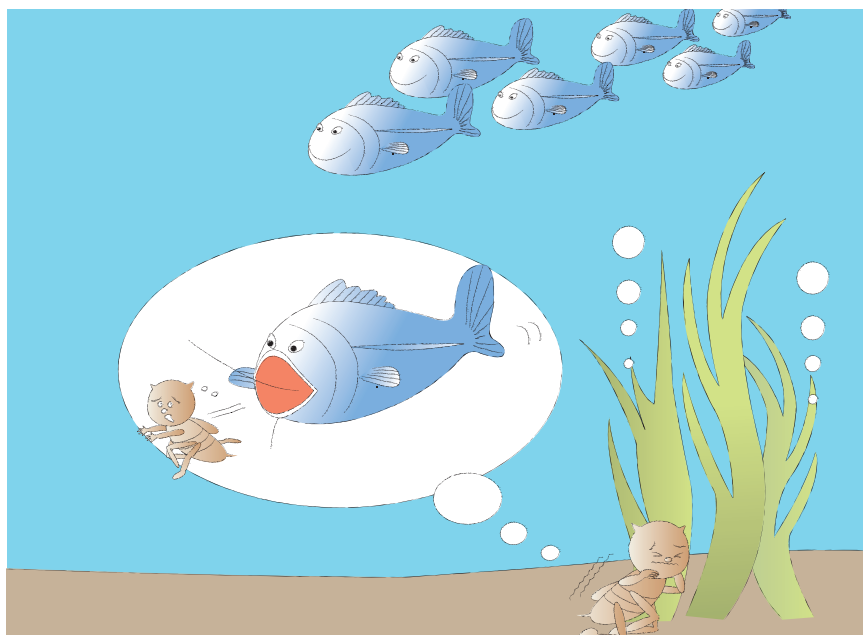


空をとべた アイトトンボ

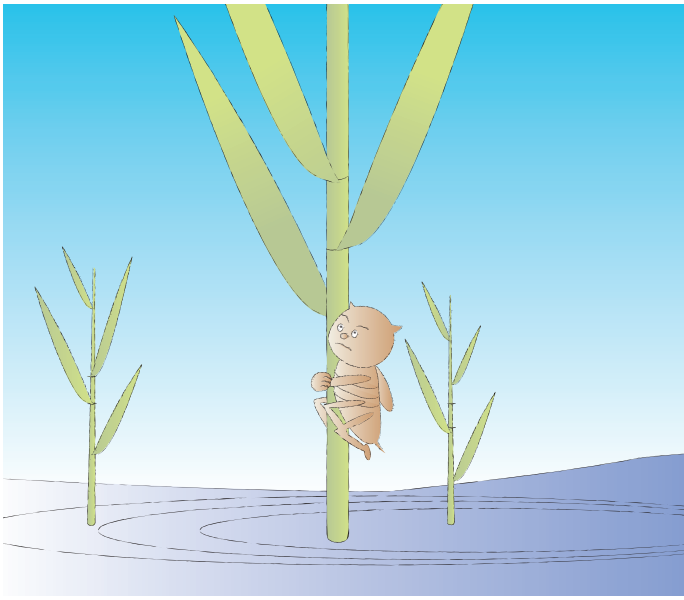
今年も、香川県の池に アイトトンボが
とびはじめました。青く小さなからだ
で 気もちよ
さそうに 池のまわりを とんでいま

春。たまごからかえった アちゃんは、
小さな アイトトンボのヤゴです。池の中
には、
ヤゴを食べようとしている魚がた
くさんいます。

「こわいよう。みんなどこに
いるのかな。」
アちゃんは、たった一人で
見つからないよう
にかくれました。



つゆ。大雨おおあめがつづきました。くらい池いけの中で、アオちゃんは、じつとがまんしています。そして、ながい雨あめのあと、アオちゃんは、大人おとなになるための場ばしよをさがしています。しかし、いくらさがしても、ぴったりのかきが見つかりません。強つよくて長いながあしの草くさが、なくなっているのです。



「どうしよう。このままじゃ

とんぼになれないよう。」

アオちゃんは、なん日にちもかけて池いけのあちらこちらをさがしました。そして、ようやく見つけた一本いっほんのかきに はい上あがり、さいごの力ちからを ふりしほりました。とんぼになるのです。ヤゴのからをぬいだアオちゃんは、今いままでとは ちがいます。くしゃくしゃだったはねは、しだいにのびて広ひろがり、うつくしい



アオイトトンボに　へんしんしていきました。

そして、夏なつ。小さなアオちゃんのからだに　太たいよ
うの光ひかりが、ぎらぎらと　てりつけます。

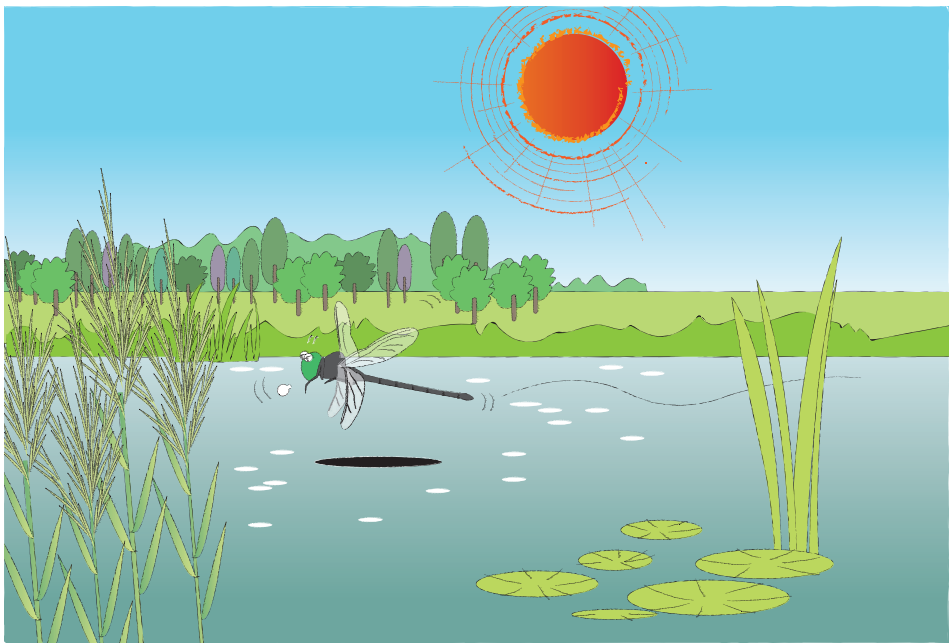
「あついよう。からだがやけそうだ。」

アオちゃんは、ふらふらしながら、林はやしをさがしま
した。

「早はやく、すずしくて　てきからかくれられる　林はやしを

見みつけなくちゃ。」

けれども、林はやしはなかなか見みつかりません。やっと
のことで、池いけのむこうにある小ちひさな林はやしを見みつけまし
た。秋あきまで　あと少すこしの　しんぼうです。



「コバネアオイトトンボ」



コバネアオイトトンボは、大きさをく3センチメートル。金緑色をしたトンボです。全国で数がたいへん少なくなっているめずらしいトンボです。香川県でも、2か所のところで生きていますが、その場しよでも、どんどん数がへっていて、いなくなるものがしんぱいされています。

「コバネアオイトトンボ」の生長に適したため池



コバネアオイトトンボは、ため池をコンクリートで改修することで卵を産むのが可能なカングレイなどの水生植物が少なくなり、繁殖が困難になったといわれています。

写真は、水生植物が生育し、コバネアオイトトンボの生長に適したため池。

まちにまった 秋がやってきました。アオちゃんは、うれしそうに なかまをさがして 林や池をとびまわります。アオちゃんのはねは、太よの光をあびて、きらきらかがやいています。

らい年もまた、この池には、新しいのちが生まれることでしょう。

